

令和3年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 地図

番号	発行者略称	教科書番号
観点	東書（東京書籍）	701
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等	<p>○ 社会科の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世界全図」において、中心からの距離と方位が正しい地図と面積が正しい地図を比較したり、日本と世界の国々との時差を調べたりする活動 ・「世界州別図」において、世界の州の境を読み取ったり、第二次世界大戦前のアフリカの独立国を調べたりする活動 ・「世界主要地域詳細図」において、多くの写真を参照しながら、アメリカ合衆国の等時帯線を読み取ったり、西アジア・環地中海地域のパイプラインの位置を調べたりする活動 ・「世界の資料図」において、自然、産業、環境等の特徴、世界のエネルギー資源の分布と貿易を調べたり、SDGsの目標と課題解決に向けた取組を調べたりする活動 ・「日本全図」において、我が国の東西南北端や北方領土・竹島・尖閣諸島の位置を調べたり、我が国の領土や排他的経済水域の範囲を読み取ったりする活動 ・「日本地域別詳細図」において、高速道路網による他地域との結び付きを調べたり、世界遺産のある県を調べたりする活動 ・「日本の資料図」において、日本の人口分布や増減率の特色を読み取ったり、日本の火山と地震の分布から、災害と向き合う方策を考えたりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、一般図に「注目したい記号」を設け、地図の読図を通して分かることを地域の特色を踏まえて整理したり、資料図にキャラクターの吹き出しを設け、テーマに沿って考察したりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。関連する資料を示す「ジャンプ」を掲載している。</p>	
内容の構成・分量等 排列・	<p>○ 内容の構成・排列については、世界の諸地域において、一般図により諸地域を大観する学習の後に、考察する主題や生徒の興味・関心に応じて自然環境や農業等に関する資料図を選択できるよう構成するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭の地図帳の使い方の特集ページにおいて、SDGsを切り口に、環境・資源・エネルギー問題、人口・貧困問題、紛争・難民問題等の現代社会の課題を、地図、写真と関連付けて、考察できるようにしている。</p>	
使用上の配慮等	<p>○ 日本と結び付きが強い世界の各州に、自然地形をとらえられる鳥瞰図を掲載したり、北海道地方のテーマ資料においてアイヌ語に由来する地名（ただし帯広の記載なし）の資料図を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「この地図の地図記号・活用方法」に地図帳の活用例や学習の指針を示したり、関連する資料を示す「ジャンプ」を掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻末に197か国及び47都道府県の統計をまとめて掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>	
その他	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 ○ 体裁が教科用図書と類似しており、地図の配置など、教科用図書の内容とのリンクを重視している。 	

令和3年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 地図

番号	発行者略称	教科書番号
観点	帝国（帝国書院）	702
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等	<p>○ 社会科の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世界全図」において、ヨーロッパ中心の面積が正しい地図や東京からの距離と方位が正しい地図を比較したり、日本と世界の国々との時差を調べたりする活動 ・「世界州別図」において、アジア州の境界を読み取ったり、ヨーロッパの位置を同緯度・同縮尺の北海道と比較したりする活動 ・「世界主要地域詳細図」において、モスクワから各都市への距離や時間から国土の広さを読み取ったり、アメリカやカナダの国立公園の分布を調べたりする活動 ・西アジア・環地中海地域のパイプラインの位置を調べたり、アメリカ合衆国の等時帯線を読み取ったりする活動 ・「世界の資料図」において、東アジアと日本の交流を調べたり、持続可能な社会を実現するための取組を調べたりする活動 ・「日本全図」において、我が国の東西南北端や北方領土・竹島・尖閣諸島の位置を調べたり、我が国の領土や排他的経済水域の範囲を読み取ったりする活動 ・「日本地域別詳細図」において、高速道路網による他地域との結び付きを調べたり、地形の特徴から発達した農産物の違いを読み取ったりする活動 ・「日本の資料図」において、地理的条件と産業の分布の関連を読み取る活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、一般図に「地図活用」のコーナーを設け、地図の読図や比較を通して分かることを整理したり、資料図に学習課題を設け、テーマに沿って考察したりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p>	
内容の構成・分量等 排列	<p>○ 内容の構成・排列については、世界の諸地域において、一般図により諸地域を大観する学習の後に、考察する主題や生徒の興味・関心に応じて環境問題や日本との結び付きを示した資料図を選択できるよう構成するなど、系統的・発展的に学習できるようにするための特色が見られる。</p> <p>○ 巻頭の地図帳の使い方の特集ページにおいて、地図帳、国土地理院の地形図を使いこなすための方法を詳述し、各所で、地図活用のための問いかけがなされている。</p>	
使用上の配慮等	<p>○ 世界の各州に生活・文化、産業などのイラストを配した鳥瞰図を掲載したり、北海道地方の資料において開拓の歴史とアイヌ語地名（帯広の記載あり）の資料図を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高めるような特色が見られる。</p> <p>○ 「地図帳の使い方」に地図帳の活用例や学習の指針を示したり、関連性の深い内容を示す矢印マークを掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるようにするための特色が見られる。</p> <p>○ 巻末に 197 か国及び 47 都道府県の統計をまとめて掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コード（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>	
その他	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 ○ 詳細な地図や豊富な資料が特長である。 	